

参考資料

平成21年度 関東地方整備局予算の概要

(長野県)

平成21年3月

国土交通省関東地方整備局

【長野県】主要事業一覧

■河川関係

重点項目	直轄・補助	水系河川名	事業(地区)名	市町村名	H21年度実施内容	事業完成による効果	事業費(億円)	新規・継続・完成予定
安全	直轄	富士川水系釜無川	武智川下流床固群整備事業	富士見町	床固群整備	沿川地域並びに下流域への土砂流出による災害発生の防止	0.9	新規
安全	補助	天竜川水系 諏訪湖	諏訪湖・天竜川激甚災害対策特別緊急事業	諏訪市、岡谷市、下諏訪町	水門ゲート製作・据付、橋梁架替	平成18年7月豪雨のより発生した浸水被害の軽減	12.6	継続
安全	補助	信濃川水系等	長野県中部砂防激甚災害対策特別緊急事業	塩尻市、岡谷市等	砂防えん堤工、溪流保全工ほか	土砂災害を防止し、人家等を保全	20.0	H21年度完成予定

■道路関係

重点項目	直轄・補助	道路:路線名	事業名	市町村名	H21年度実施内容	事業完成による効果	事業費(億円)	新規・継続・完成予定
活力	直轄	中部横断自動車道	中部横断自動車道(八千穂～佐久)	佐久穂町、佐久市、小諸市	工事・用地、調査設計推進	太平洋の臨海地域との連携を強化し防災に強いネットワークの構築、物流の効率化	50.0	継続
活力	直轄	国道20号	坂室バイパス	茅野市	工事、用地推進	茅野市内の交通混雑の緩和、交通安全性の確保	26.1	継続
活力	直轄	国道18号	上田バイパス(延伸)	東御市、上田市	調査設計推進	上田市内の交通混雑の緩和、交通安全性の確保	1.5	新規
安全	直轄	国道19号	穂刈橋梁補修	上水内郡信州新町	床版補修等の予防的修繕工事	予防的修繕による橋梁の長寿命化により、ライフサイクルコストの大幅な縮減	1.8	新規
暮らし	直轄	国道19号	新町歩道整備	上水内郡信州新町	歩道の設置に向け、用地買収・工事を推進	通学路の安全確保	4.7	継続
活力	補助	国道153号	伊那バイパス	伊那市・箕輪町	バイパス整備	現道混雑緩和・地域間連携強化	11.0	継続

■都市・住宅関係

重点項目	直轄・補助	事業(地区)名	市町村名	H21年度実施内容	事業完成による効果	事業費(億円)	新規・継続・完成予定
環境	直轄	国営アルプスあづみの公園	大田市・安曇野市・北安曇郡松川村	大町・松川地区を一部開園し、溪流レクリエーションゾーンの樹林地の整備に着手、また、堀金・穂高地区では樹林地、園路及び駐車場の整備を実施	大町・松川地区開園により、堀金・穂高地区と併せて、多様なレクリエーション活動の場を提供することが可能	23.3	継続
活力	補助	善光寺参道地区まちづくり交付金	長野市	街路の改良工事	善光寺門前への交通アクセスの向上により、観光客の誘導及び回遊性の向上	2.5	継続
環境	補助	新町穂刈地区街なみ環境整備事業	信州新町	外構修景、小公園の整備等	犀川通船によって発展した当時の街なみをいかした街づくりと、特色ある商店街の振興等	0.6	新規
暮らし	補助	地域優良賃貸住宅整備事業(高齢者型)	飯山市	バリアフリー化、緊急時対応サービスの住宅の提供等	高齢者が安全に安心して居住可能な住宅の供給等	1.7	新規

『安全』

【新規事業化】

たけちがわかりゆうとこがためぐんせいびじぎょう

武智川下流床固群整備事業

平成21年度事業費：0.9億円

すわぐんふじみちょう
諏訪郡富士見町

1. 事業の必要性及び概要

富士川水系武智川は標高差900mを数kmで流れ下る急流であり、土石流危険渓流に指定されている河川です。その下流部には武智川に沿う形で集落が点在していますが、昭和34年台風7号や昭和57年台風10号による災害など、過去に幾度も土砂災害が発生し流域住民の生命や財産を脅かしてきました。

武智川においては、土砂流出を調節するための砂防えん堤群の整備を上流部で進めているところですが、流出した土砂を安全に流すための床固群の整備を下流部で併せて実施することで、流域の土砂災害に対する安全度を向上させます。

○全体計画

- 事業箇所 : ながのけんすわぐんふじみちょうおちあい 長野県諏訪郡富士見町落合
- 事業内容 : 整備区間延長 L=約1,600m (床固工31基)
- 全体工期 : 平成21年度～平成29年度予定
- 全体事業費 : 約1.3億円

2. 平成21年度の予定

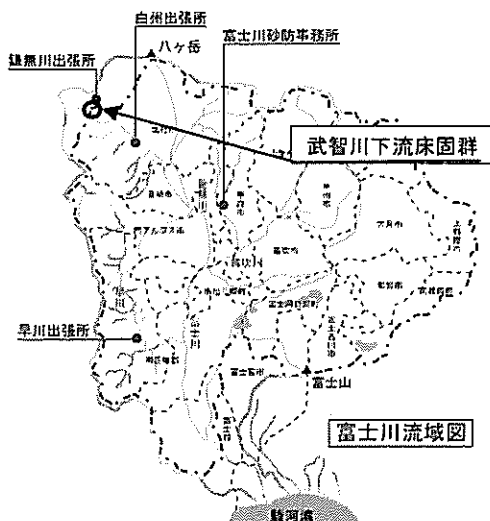
事業用地の取得および施設設計を実施

3. 期待される整備効果

床固群の整備により河床、溪岸を安定させ、安全に土砂を流すための河川断面を確保することで、沿川集落への土砂災害の危険性を低下させます。

また、下流の富士川流域における治水安全度向上に寄与します。

4. 位置図及び概要図



昭和57年災害による被災状況
(武智鉱泉・釜無川合流部)



武智川流域の状況

『安全』

【平成21年度完成予定】

ながのけんけんおうぶさぼうげきじんさいがいたいまくとくべつきんきゅうじぎょう
長野県県央部砂防激甚災害対策特別緊急事業

平成21年度事業費：20億円

おかし
 岡谷市ほか

1. 事業の必要性及び概要

長野県の県央部(岡谷市周辺)では、平成18年7月豪雨により土砂災害が発生し、犠牲者10名という甚大な被害をもたらした。再度災害を防止するため、土石流対策工事として砂防えん堤工、溪流保全工を整備するものである。

○全体計画

ながのけん けんおうぶ おかしほか

事業箇所：長野県 県央部(岡谷市他) 小田井沢川 他21溪流

事業内容：砂防えん堤工10基、床固工5基、土石流堆積工5基、溪流保全工17溪流

全体工期：平成19年度～平成21年度予定

全体事業費：約70億円

2. 平成21年度の予定

全22溪流のうち、平成20年度までに3溪流が完了しており、平成21年度には残りの19溪流が完了する予定である。これにより全溪流において事業が完了し、砂防えん堤10基、溪流保全工等が完成する。

3. 期待される整備効果

県央部22溪流において砂防施設が完成し、人家約1800戸、JR中央線、中央自動車道、国道2路線、県道4路線、小中学校4校他を土石流災害から保全することができる。

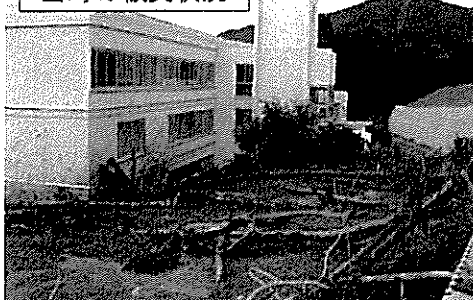
4. 位置図及び概要図

代表事例:横河川左支川

代表事例:小田井沢川(死者7名)

位置図

当時の被災状況



H20年3月完成した砂防施設



長野県県央部

当時の被災状況



『活 力』
【事業推進】

ちゅうぶおうだんじどうしゃどう やちほ さく
中部横断自動車道 (八千穂～佐久)

平成21年度事業費：50.0億円

さくほまち さくし こもろし
佐久穂町・佐久市・小諸市

1. 事業の必要性及び概要

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を経由し長野県佐久市に至る延長132kmの高速自動車国道です。本道路は、太平洋及び日本海の臨海地域と長野・山梨県との連携を深め、国道52号の代替路となる防災に強いネットワークの構築、物流体系の確立や広域的観光ゾーンの開発等、沿線地域の産業経済の振興に寄与することが期待されます。

なお、長野県区間の(仮称)八千穂IC～(仮称)佐久JCTの23kmについては、平成15年度より直轄事業として事業を進めています。

○全体計画

事業箇所：長野県南佐久郡佐久穂町～長野県佐久市

延 長：L=23km

事業内容：調査設計・用地買収・道路改良工事等 一式

全体工期：平成15年度～

2. 平成21年度の予定

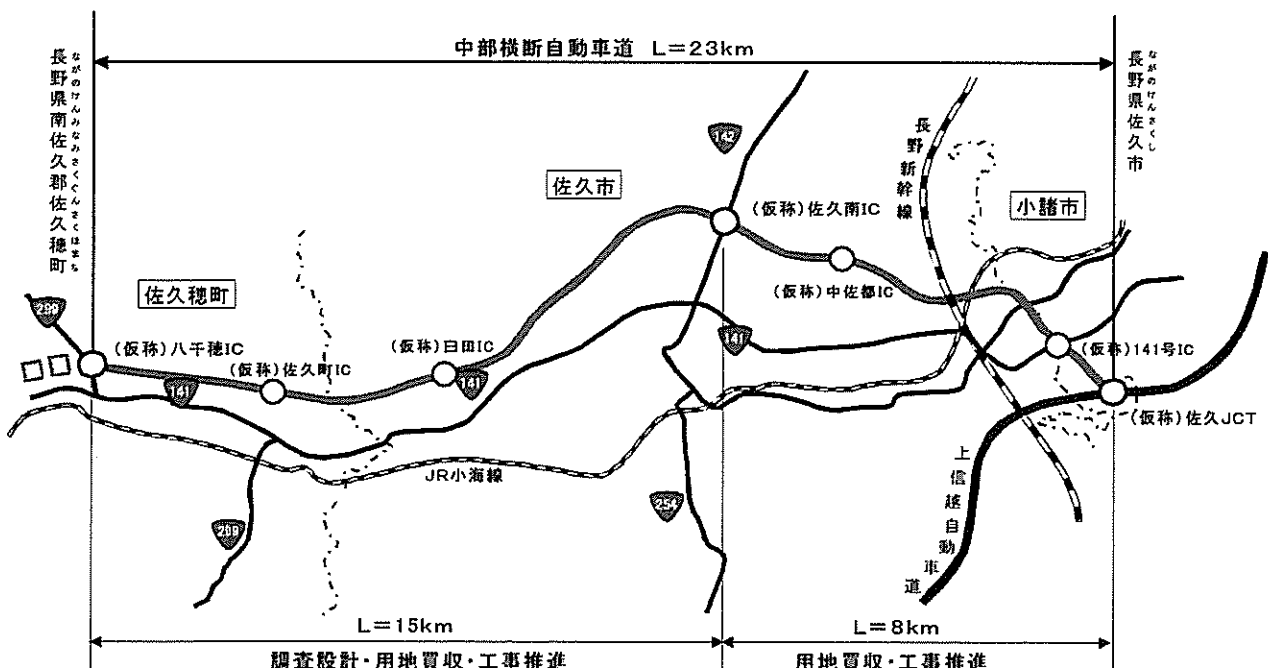
平成21年度は、引き続き(仮称)八千穂IC～(仮称)佐久JCT間において調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査及び工事を推進します。

3. 期待される整備効果

沿線地域が安心して豊かに暮らすための基盤づくりを支援するとともに、災害発生時等の迅速かつ確実な緊急輸送路を確保します。

また、沿線の豊かな観光資源の相互連携を図り、周遊型観光及び地域開発を支援します。

4. 位置図及び概要図



『活 力』
【事業推進】

国道20号 ^{さかむろ}坂室バイパス

平成21年度事業費：26.1億円

^{ちのし}茅野市

1. 事業の必要性及び概要

坂室バイパスは、国道20号の茅野市木舟から同市宮川に至る延長約3.0kmのバイパスです。本道路は、国道20号茅野市内の交通混雑緩和と交通安全確保を図る重要な役割を担っています。

○全体計画

- 事業箇所：長野県茅野市木舟～茅野市宮川
- 延長：L=3.0km
- 事業内容：用地買収・トンネル工事等 一式
- 全体工期：平成10年度～

2. 平成21年度の予定

平成20年度は、用地買収及びトンネル・改良工事を推進し、西茅野土地地区画整理事業地から国道20号茅野市宮川までの延長約0.9kmについて暫定2車線供用を図りました。

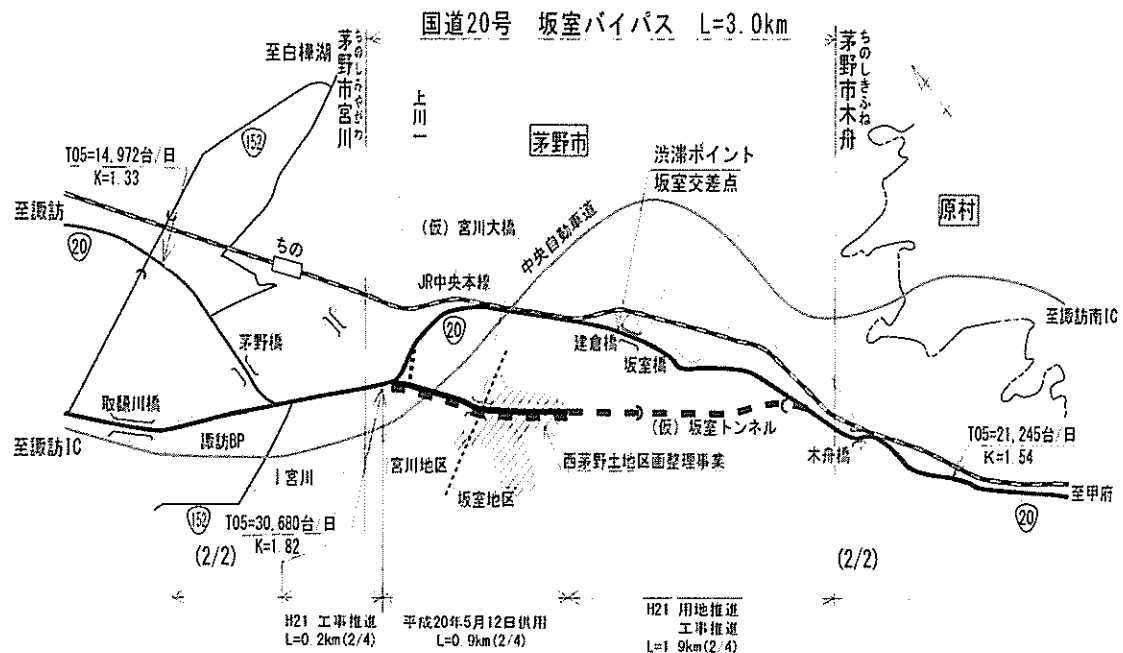
平成21年度は、引き続き用地買収及びトンネル・改良工事を推進する予定です。

3. 期待される整備効果

バイパスの整備により、国道20号坂室交差点の交通混雑の緩和を図るとともに、歩行空間の整備により歩行者や自転車の通行の安全性の向上を図ります。

また、西茅野土地地区画整理事業地へのアクセス道路として地域の発展に寄与します。

4. 位置図及び概要図



『活 力』
【新規事業化】

国道18号 上田バイパス (延伸)

平成21年度事業費：1.5億円

上田市

1. 事業の必要性及び概要

上田バイパスは、長野県東御市本海野～上田市上塩尻に至る11.5kmのバイパスです。上田市街地における慢性的な交通混雑の緩和をはじめ、交通安全の確保、地域発展の促進を目的とした事業です。

このうち、長野県東御市本海野から上田市大字国分間には、主要渋滞ポイント（国分西交差点）が存在するとともに、上田菅平IC、鉄道駅等の交通結節点が隣接していることから、当該区間を新規事業化し、バイパス全線の整備を行うものです。

○全体計画

事業箇所：長野県東御市本海野～長野県上田市大字国分

延長：L=4.1km

事業内容：調査設計

全体工期：平成21年度事業化

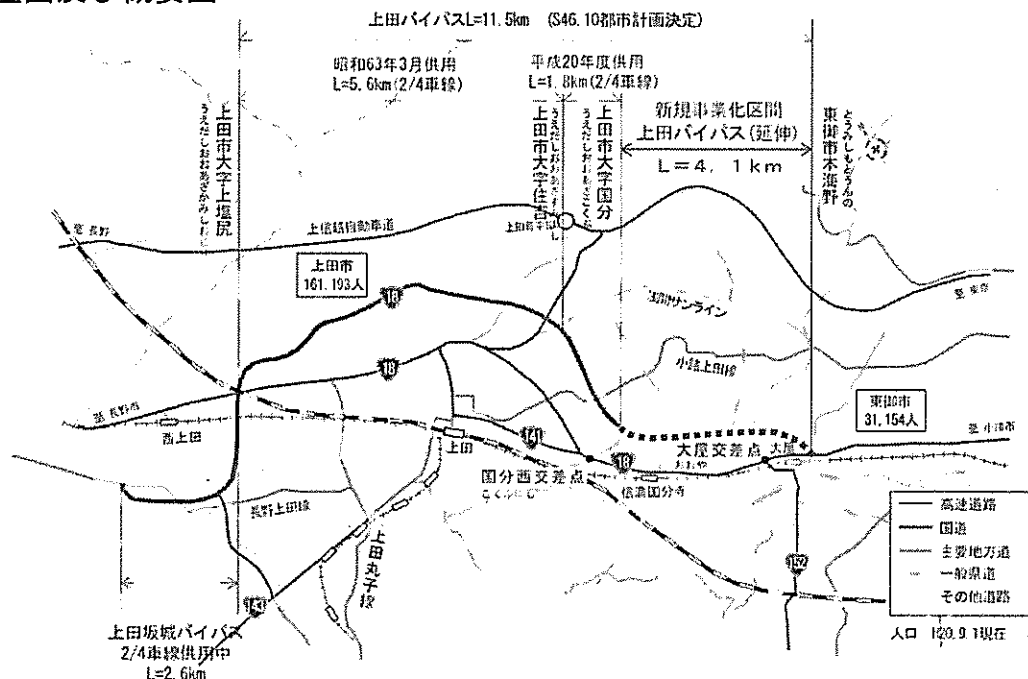
2. 平成21年度の予定

平成21年度は、路線測量など基礎調査を推進します。

3. 期待される整備効果

上田バイパスの延長11.5km区間が整備されることにより、国道18号の上田市街地における交通混雑が緩和するとともに、交通安全の確保及び地域発展の促進等が図られます。

4. 位置図及び概要図



『安全』

【事業推進】

こくどう ごうほかりばしきょうりょうほしゅう
 国道19号穂刈橋橋梁補修

平成21年度事業費：約1.8億円

かみみのちぐんしんしゅうしんまち
 上水内郡信州新町

1. 事業の必要性及び概要

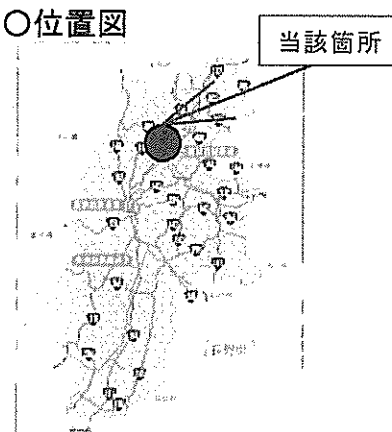
国道19号穂刈橋は、犀川を渡河する橋梁で、1959年に架設されたトラス橋であるが、架設後50年が経過しており、今後、疲労や劣化等の損傷が深刻になることが懸念されます。

このため、定期点検により確認された損傷が軽微な段階で補修を行い、安全で安心なサービスを提供します。

○全体計画

事業箇所：ながのけんかみみのちぐんしんしゅうしんまちしもいちば長野県上水内郡信州新町下市場
 延長：L=152m
 事業内容：橋梁補修
 全体工期：平成20年度～平成22年度予定
 全体事業費：約4.3億円

○位置図



2. 平成21年度の予定

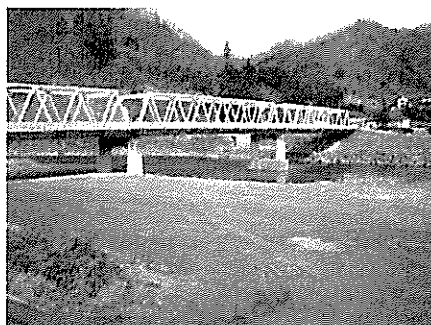
定期点検により、床版の損傷等が確認されたため、各部材における予防的修繕工事を実施します。

3. 期待される整備効果

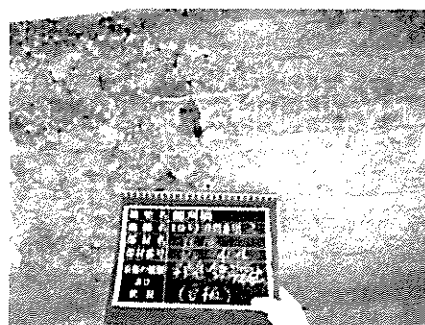
従来の事後的な修繕及び架替えから、早期に対策を講ずることにより長寿命化が見込まれる橋梁について、予防的な修繕を実施することにより、建設時から架替え時までの修繕・架替えにかかる単年度当たりのコストの大幅な縮減が期待できます。

4. 概要図

(橋梁全景)



(床版の損傷状況)



『暮らし』
【事業推進】

国道19号 ^{しんまち} 新町歩道整備

平成21年度事業費：4.7億円

かみみのちぐんしんしゅうしんまち
上水内郡信州新町

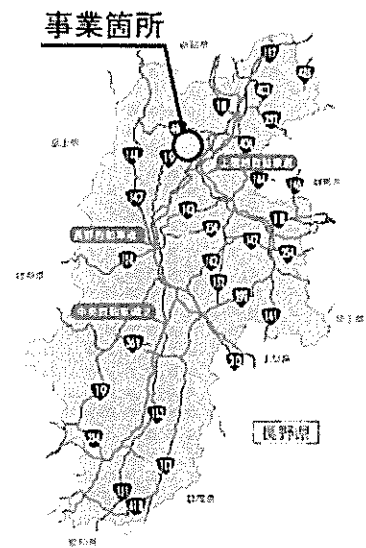
1. 事業の必要性及び概要

国道19号信州新町新町里穂刈～新町区間は、沿道に小・中学校、町役場、病院等の公共施設おが隣接しており、通学路にも指定されていますが、車道幅員も狭く、歩道未設置区間があるため、歩行者の安全確保がなされていない状況です。このため、車道、路肩の幅員確保及び歩道設置を行い、歩行者の安全を確保します。

○全体計画

事業箇所：^{ながのけんかみみのちぐんしんしゅうしんまちさとほかり} 長野県上水内郡信州新町里穂刈～^{しんまち} 新町
延長：L=2.1km（うち0.6km完成）
事業内容：歩道整備
全体工期：平成11年度～平成20年代半ば
全体事業費：約65億円

○位置図



2. 平成21年度の予定

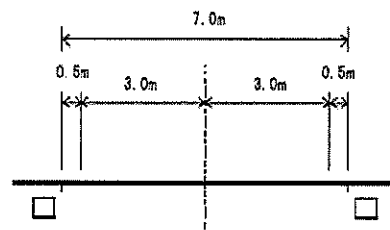
引き続き、用地買収、工事を推進します。

3. 期待される整備効果

車道、路肩幅員を確保し、歩道を整備することにより、歩行者の安全を確保します。

4. 概要図

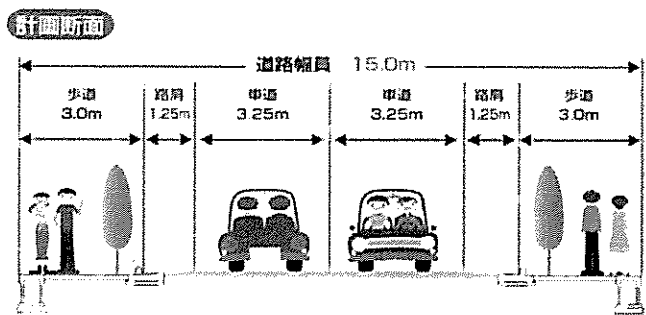
現況



計画



(完成区間)



『活力』
【事業推進】

一般国道153号 伊那バイパス

平成21年度事業費：11億円

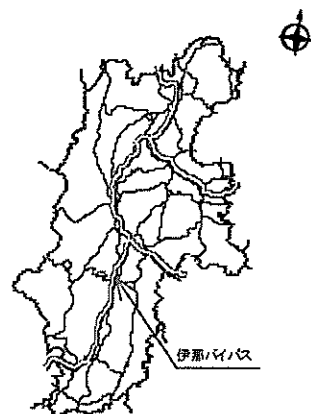
伊那市・箕輪町

1. 事業の必要性及び概要

伊那バイパスは一般国道153号の伊那市から上伊那郡箕輪町の交通混雑の解消を目的とした、4車線(暫定2車線)のバイパス整備事業です。

○全体計画

事業箇所：長野県伊那市日影～上伊那郡箕輪町木下
 延長：L=約7.6km
 事業着手：平成9年度
 全体事業費：約138億円



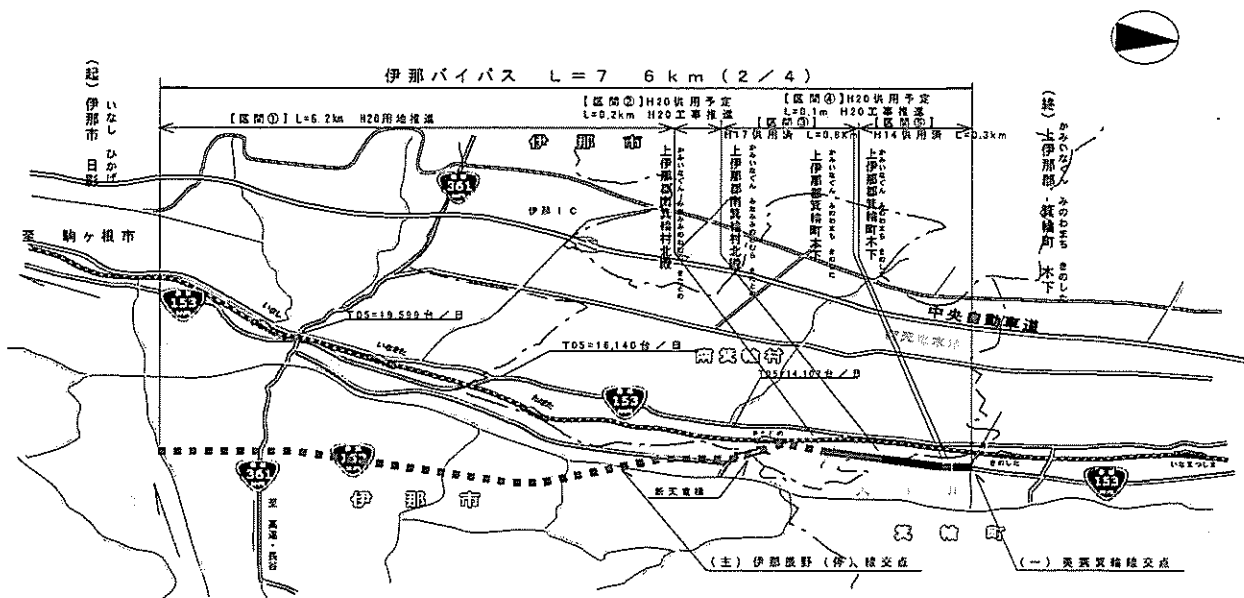
2. 平成21年度の予定

用地買収、改良工事を推進します。

3. 期待される整備効果

現道の混雑緩和が図られ、伊那市の新たな南北軸を形成し、地域のより一層の発展に資するものです。

4. 位置図及び概要図



『環境』

【平成21年度部分完成予定】

こくえいあるがすあづみのこうえん
 国営アルプスあづみの公園

平成21年度事業費：23.27億円

おおまちし あづみのし きたあづみぐんまつかわむら
 大町市・安曇野市・北安曇郡松川村

1. 事業の必要性及び概要

国営アルプスあづみの公園は、長野県内をはじめ、広く三大都市圏の広域的レクリエーション需要に対応することを目的とした国営公園です。平成2年度から事業着手し、平成16年度に堀金・穂高地区において第1期開園しました。計画面積約356haのうち、約27haが開園しており、平成19年度の年間入園者は約28万人となっています。

○全体計画

ながのけんおおまちし あづみのし きたあづみぐんまつかわむら
 事業箇所：長野県大町市・安曇野市・北安曇郡松川村
 面積：356ha
 事業内容：国営公園事業
 全体工期：平成2年度～

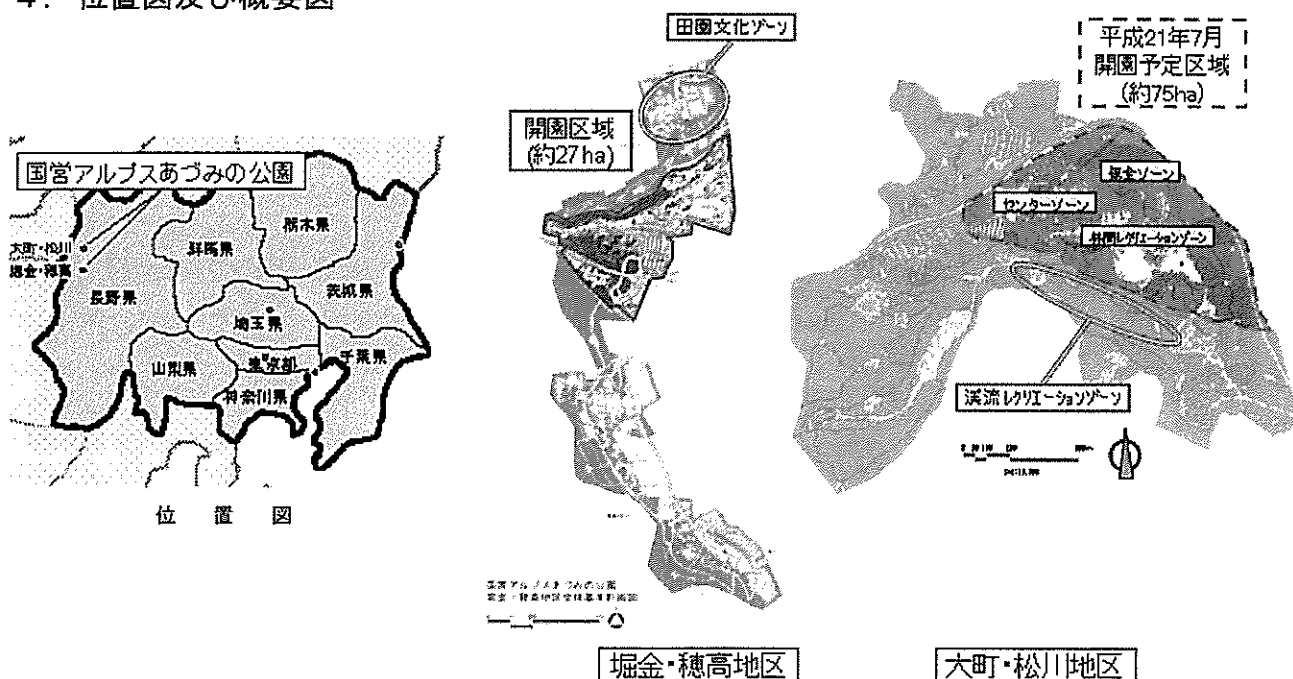
2. 平成21年度の予定

平成20年度は、大町・松川地区において、植栽、展示施設等の整備を行いました。平成21年度は、大町・松川地区を一部開園(H21.7予定)し、引き続き溪流レクリエーションゾーンの樹林地の整備に着手します。また、堀金・穂高地区においては田園文化ゾーンの樹林地、園路及び駐車場の整備を進めます。

3. 期待される整備効果

平成21年7月に大町・松川地区を開園することで、一部開園している堀金・穂高地区と併せて、多様なレクリエーション活動の場を広く提供することが可能となります。

4. 位置図及び概要図



『環境』

【新規事業化】

しんまちさとほかりちくまちなみかんきょうせいびじぎょう
 新町里穂刈地区街なみ環境整備事業

平成21年度事業費：0.6億円

かみみのちぐんしんしゅうしんまち
 上水内郡信州新町

1. 事業の必要性及び概要

当地区は、県都長野市の西部に位置し、北アルプスを源流とする犀川が街の中心部に沿って流れ、昭和の初期には犀川通船によって商業が発展した。度重なる水害の歴史にあっても、古い街なみや建物が多く残されており、現在進められている国道改良（歩道設置）工事にあわせ、当時の街並みをいかした街づくりと特色ある商店街振興を目指している。

○全体計画

ながのけんかみみのちぐんしんしゅうしんまち
 事業箇所：長野県上水内郡信州新町
 延長：38 ha
 事業内容：小公園の整備、各種修景整備
 全体工期：平成21年度～平成30年度（予定）
 全体事業費：4.51億円（予定）

2. 平成21年度の予定

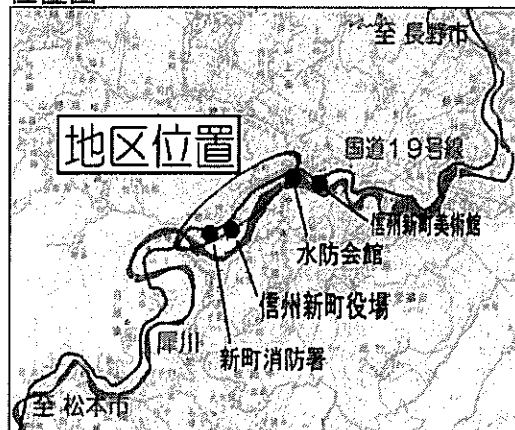
地区内の小公園の整備、地区内にある街路灯の整備、地区内にある建物の修景整備を支援する。

3. 期待される整備効果

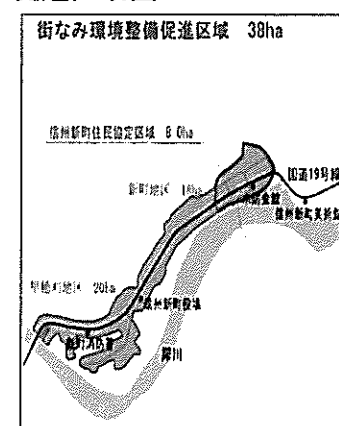
犀川通船によって発展した当時の街なみをいかした街づくりと、特色ある商店街の振興等

4. 位置図及び概要図

位置図



促進区域図



『暮らし』

【新規事業化】

ちいきゆうりようちんたいじゆうたくせいびじぎよう こうれいしやがた
 地域優良賃貸住宅整備事業（高齢者型）

平成21年度事業費：1.7億円

いいやまし
 飯山市

1. 事業の必要性及び概要

本格的な高齢化社会を迎え、高齢者世帯の数は急激に増加しています。こうした状況を踏まえ、高齢者の方が安全に安心して居住できるように「バリアフリー化」され、「緊急時対応サービス」等の利用が可能な高齢者が安全に安心して居住できる住宅が求められています。当事業では民間等の主体により、これらの住宅の整備を支援します。

○全体計画

- 事業主体：飯山市ながのけんいいやまし
- 事業箇所：長野県飯山市
- 事業内容：地域優良賃貸住宅建設（12戸）
- 全体工期：平成21年4月～平成22年3月
- 全体事業費：約1.7億円

2. 平成21年度の予定

地域優良賃貸住宅の建設を支援します。

3. 期待される整備効果

高齢者の利用を想定した住宅が供給されます。

4. 位置図及び概要図

